

経営比較分析表（平成28年度決算）

埼玉県 滑川町

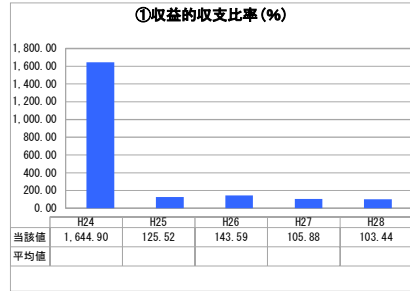
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	22.35	100.00	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,286	29.68	616.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,099	25.83	158.69

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 平成28年度全国平均

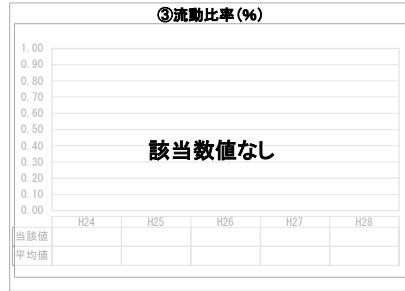
1. 経営の健全性・効率性



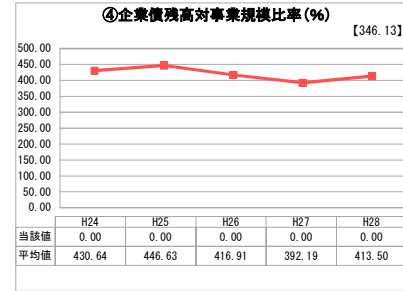
「単年度の収支」



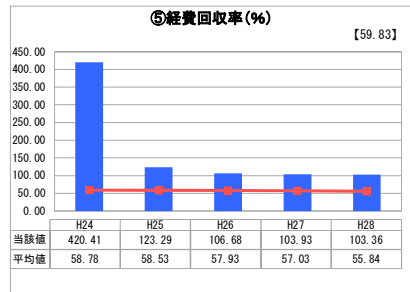
「累積欠損」



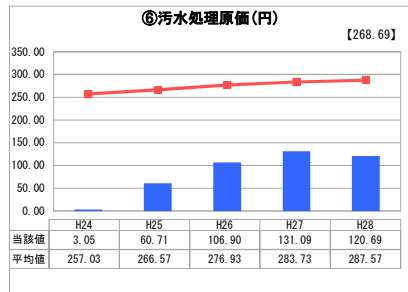
「支払能力」



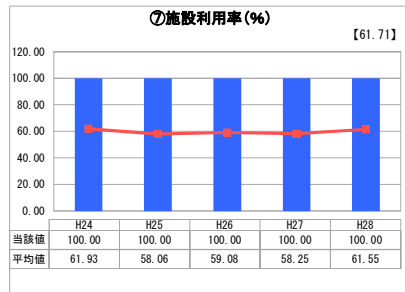
「債務残高」



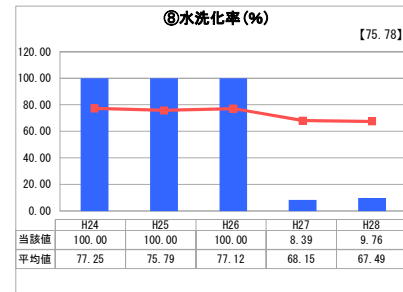
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

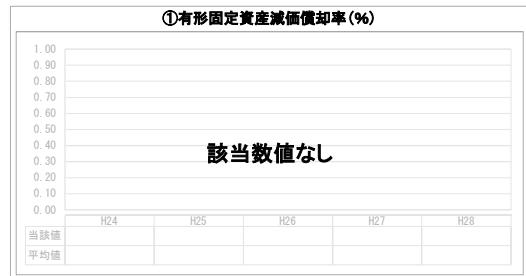


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

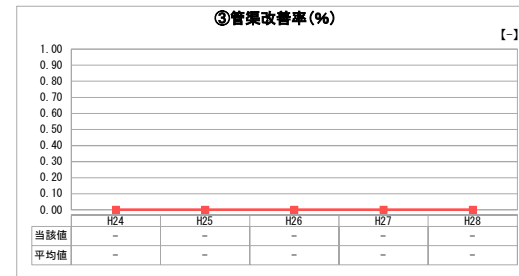
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、料金収入と一般会計繰入金等による総収益により、100%を超えているが、今後、地方債償還等の増加も見込まれるため、経営を維持するべく努力が必要である。
 経費回収率は100%を超えており、使用料で回収すべき経費は使用料で賄っている状況である。
 汚水処理原価は全国平均を下回っており、低コストで汚水処理ができてきている状況だが、今後、維持管理費の増加等によるコスト上昇について注視が必要である。
 施設利用率は100%であり、今後、普及促進を進めていく中でも維持できるよう努力が必要である。
 水洗化率は、既存区域の整備が進み、事業区域拡大により低下したものであるが、今後とも普及拡大により水洗化率の向上を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

事業開始から間もないため、老朽化はあまり見られていないが、今後の維持管理に向けて創意工夫による手法が必要となる。

全体総括

順調に整備が進んでおり、今後は浄化槽設置の普及率の向上を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。